

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和7年度 第1回北はりま定住自立圏共生ビジョン会議
開催日時	令和7年8月22日（金曜日） 午前9時30分～11時25分
開催場所	西脇市役所 3階 大会議室
出席委員の氏名又は人数	11人
欠席委員の氏名又は人数	3人
出席職員の職・氏名又は人数	オブザーバー5人、事務局3人、各事業担当者
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0人
議題又は協議事項	1 第3次北はりま定住自立圏共生ビジョンについて 2 第3次北はりま定住自立圏共生ビジョンにおける取組の進捗状況について 3 第4次北はりま定住自立圏共生ビジョンにおける具体的な取組内容について
会議の記録（概要）	
発言者	<p>（開会） （事務連絡）</p> <p>（開会あいさつ） 西脇市と多可町との1市1町による「北はりま定住自立圏共生ビジョン会議」において、委員の皆様には大変御多忙の中、御出席をいただき感謝申し上げます。また、オブザーバーとして、北播磨県民局にも出席いただいている。 多可町と西脇市は共通の地域資源を持つなど、地域</p>
事務局	
西脇市長	

	<p>の「つながり」が強く、これまでから医療や消防、ごみ処理など広域行政を活発に進めており、今後も連携して進めることが必要になる。</p> <p>今年度は「第4次共生ビジョン」の策定の年である。意義のある計画となるよう委員各位には、それぞれの立場から御意見をいただき、北はりま定住自立圏の推進について、引き続きお力添えを賜るようお願い申し上げます。</p>
事務局	<p>(委員等出席者の紹介)</p> <p>新たに就任した委員の自己紹介、出席者の紹介</p> <p style="text-align: center;">— 以後、三宅会長が進行 —</p>
会長	<p>(議事1 第3次北はりま定住自立圏共生ビジョンについて)</p> <p>資料1に基づき、事務局から説明</p> <p>(質問等なし)</p>
会長	<p>(議事2 第3次北はりま定住自立圏共生ビジョンにおける取組の進捗状況について)</p> <p>資料2の見方を事務局から説明</p> <p>資料2に基づき、各事業担当者から説明</p> <p style="text-align: center;">— 【グループ1】の事業 — (No. 4、6、8、12、14)</p>
委員	<p>(No. 6 病病連携推進事業)</p> <p>北はりま絆ネットについて、患者や医療機関にどんな影響があるか聞かせてほしい。</p>
西脇市担当者	<p>北はりま圏域内の地域医療連携システムであり、本人の同意を得たうえで、薬・注射・画像情報などの診療情報の共有を行うもの。治療経過を確実に把握することができるようになり、より安全で継続的な治療つながっている。</p>
委員	<p>(No. 5 病診連携推進事業)</p>

	<p>MRIやCTなどの画像検査関連について、開業医からの紹介の場合には、後日検査となっている。当日検査ができれば、患者や開業医の利便性も上がるのではないか。</p>
西脇市担当者	<p>現状の運用では、画像検査は翌日もしくは翌々日検査となっている。開業医の方の午後診療に合わせて検査できればよいが、救急外来との兼ね合いもあり、喫緊の課題となっている。</p>
委 員	<p>(No.14 スポーツイベント交流事業)</p> <p>西脇多可新人高校駅伝競走大会は、県外からの来場者も多いイベントだが、イベント関係者以外の近隣の方が通行止め等を認識されていない方が多いため、周知が必要と考える。</p> <p>また、猛暑もあり、夏のスポーツ環境の整備や子どもたちの夏場の体力など今後問われる可能性の課題もある。</p>
西脇市担当者	<p>西脇多可新人高校駅伝競走大会は、今年度も開催予定であり、実行委員会でしっかりと協議したい。夏場のスポーツ環境の整備については、西脇市では中学校体育館や格技場へのスポットクーラーの導入を行ったが、全国的には空調設備を整備された例もあり、今後検討していきたい。</p>
委 員	<p>(No.15 文化交流事業)</p> <p>西脇市の劇団四季ファミリーミュージカルを鑑賞した多可町民、多可町の演劇セミナーに参加した西脇市民はそれぞれ何名か。</p>
西脇市担当者	<p>来場者アンケートを行っているが、手元にないため、後日回答する。</p>
多可町担当者	<p>手元にはないが町外からも多くの方に参加いただいている。詳細は後日回答する。</p> <p style="text-align: center;">— 【グループ2】の事業 — (No.18、19、24)</p>

委員	特に意見なし
委員	(No.19 地域事業者成長支援事業) 播州織業界で言うと、イベント等PRをしていただいているが、高齢化もあり、工場・企業は減ってきている。アピールはできていると思う一方で作り手は苦しい状況が続いている。商工会に入会する方も多く、できる支援を行っていききたい。今後も市町の方には御支援をいただきたい。
委員	(No.18 農産物直売所運営事業) 北はりま旬菜館の経営状況は、赤字か黒字かどうなっているのか。また西脇市黒田庄町の土づくりセンターについても経営状況を教えてほしい。
西脇市担当者	北はりま旬菜館には、指定管理料を支払っていたが、令和3年度から売上のみで運営ができるようになっており、現在は黒字となっている。また、土づくりセンターについては、令和6年度で500～600万円程度の指定管理料を支払っており、現状単体では黒字とはなっていない。
委員	(No.25 広域斎場管理運営事業) やすらぎ苑・はやすクリーンセンターの設置期限延長に関し、基金の積立はできているのか。
西脇多可行政事務組合 担当者	本日、担当課長が不在となっているため、後日回答させていただきます。
委員	(No.20 有害鳥獣有効活用事業) 有害鳥獣としてシカの対策については理解したが、問題となっているナガエツルノゲイトウの対策も必要ではないか。
西脇市担当者	市内でも発生しており、課題となっている。ナガエツルノゲイトウに関しては、今は県の主導により対応している状況である。まずは県と協力を図りながら対策に取り組んでいきたい。

<p>委 員</p>	<p>事業管理シートに記載のシカの頭数は少なく感じるが、捕獲してよい頭数などに制限があるのか。西脇市内でも多数の被害を聞いており、対策が必要ではないか。</p>
<p>西脇市担当者</p>	<p>シカの捕獲数の上限はない。シートに記載しているシカの頭数は、捕獲した後に多可町の処理加工施設に搬入し、加工された頭数である。市内での被害も認識しており、猟友会と連携しながら対応している状況である。</p>
<p>委 員</p>	<p>多可町ではクマの目撃情報も多く、住民も過剰に反応されるようになっている。</p>
<p>多可町担当者</p>	<p>猛暑の関係もあり、川に降りてくるなど今年に入って、目撃情報は多い。今は県と共有しながら対応しているところである。町としては、まず情報の周知を図りながら、対策を行っていききたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>(産業振興分野に関連して) 細かい分野ごとへの検討も必要であるが、少子高齢化が進み、働き手が少なくなっている今、人口減少対策が重要ではないか。人口流出を阻止するかを考えるために、各事業を進め、広めていかないといけないと考える。</p>
<p>— 【グループ3】の事業 — (No.27、31、34、36)</p>	
<p>委 員</p>	<p>(No.27 地域公共交通ネットワーク事業) 両市町からの支援により圏域をつなぐ路線バスが運行できている。公共交通利用者数の目標達成も喜ばしい。ただ、人口減少に伴う利用者減や運転手確保の課題等もあるため、引き続き路線維持できるように連携をお願いしたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>(No.30 観光交流促進事業) 万博もあり、多くの方に来ていただけていると思うが、この地域に2回3回と来ていただくために周りの</p>

西脇市担当者	<p>団体等とどう連携を行っているのか。</p> <p>兵庫県のフィールドパビリオンのプログラムに基づき、事業を進めている。播州織ファッションショーなどの万博会場でのPRを通じて西脇市、多可町への誘客を行っている。また、観光事業者とも連携し、観光バスツアーへの助成なども行っている。</p>
委員	<p>(No.31 移住・定住促進事業)</p> <p>多可町では移住者が減少しているとあるが、状況と原因等の分析を教えてください。</p>
多可町担当者	<p>本日、担当者が不在のため、後日回答する。</p>
委員	<p>(No.35 住民相談窓口の広域利用の推進)</p> <p>西脇市での女性の起業相談9名、多可町の女性の起業セミナー6名とあるが、これは多いのか、少ないのか。起業相談は西脇市・多可町の方のみか。また、その後、起業されているのか。</p>
西脇市担当者	<p>多可町は例年と比べて多い状況。西脇市では、将来的に西脇市での起業を考えられている場合、市外からでの受講も可能としている。その中で、より具体的に起業したいという方1名限定でより詳しい起業塾を行い、補助金等の支援を行っている。多可町の実績については不明であるが、少しずつではあるが西脇市で起業される方が増えてきた。</p>
委員	<p>(No.31 移住・定住促進事業)</p> <p>西脇市と多可町での空き家は増えていると思うが今の推移状況はどのようになっているのか。また市内の中でも差があると思うので、地区とも連携を図りながら対策する必要があるのではないか。</p>
西脇市担当者	<p>西脇市の空き家の状況について、平成29年度は813件だったものが、令和7年は1,022件となっており、活用されたもの等も含めると実質1,500件ほどになっている。空き家バンクを活用しながら、移住者の方にも使ってもらえるように地域とも連携を図りながら取</p>

	<p>り組んでいきたい。多可町の状況については後日回答する。</p>
委 員	<p>多可町と西脇市では差があまりないが、加東市や加西市の方が移住や住宅の補助制度が充実しているという若者の声も聞く。近隣との差を見ながら、特に多可町の町営住宅を活用する等若者の流出を防ぐ方法を検討いただきたい。また、空き家からでる危険木、山の危険木の伐採に対する補助金が多可町にはないため、検討いただきたい。</p>
多可町担当者	<p>空き家の危険木伐採の補助金は、個人への補助制度はないが、自治会で対策を講じるものであれば補助支援を行っているので、窓口で相談していただきたい。</p>
委 員	<p>(No.28 国道 427号整備促進事業)</p> <p>多可町から高速道路までのアクセスは非常に遠い。交通アクセスが改善されれば、移住定住にもつながってくるのではないか。</p>
西脇市担当者	<p>高速道路へのアクセスについて、第3次共生ビジョンでは、国道 427号を高速道路等へアクセスする広域幹線道路と位置づけ、整備促進を進めている。第4次共生ビジョンでは、高規格道路として計画されている国道 175号東播丹波連絡道路の整備促進に取り組む予定であり、高速道路等へのアクセスについても、西脇市と多可町で検討しているところである。</p>
会 長	<p>(議事3 第4次北はりま定住自立圏共生ビジョンにおける具体的な取組状況について)</p> <p>資料3、4について事務局から説明</p>
会 長	<p>(資料3について)</p> <p>資料3の3の再編・変更事業のうち、「スポーツイベント交流事業」について、第4次共生ビジョンで北播磨広域定住自立圏との重複を解消するとの記載があるが、似たような内容を無くすということか。</p>
事 務 局	<p>当事業は、イベントのほかに施設の相互利用を記載</p>

<p>会長</p> <p>事務局</p> <p>多可町長</p>	<p>したものがあり、できている部分、できていない部分もあるが、3市1町の広域定住自立圏のビジョンでも取り組んでいるため、重複を解消したいという内容である。同じように資料3の1完了事業にある移住・定住促進事業についても広域定住自立圏で取り組むことになったため、重複を解消している。</p> <p>同じ北播磨地域の中でも文化の違いがあり、何を大切するかによってそれを独自に残していくか、広く取り組んでいくかが重要になる。効率性が重視される世の中ではあるが、それに反して西脇市、多可町の2市町で独自に残していくことを検討しても良いのではないか。</p> <p>(事務連絡)</p> <p>(閉会あいさつ)</p> <p>早朝より御出席いただき、感謝申し上げます。</p> <p>第3次の共生ビジョンの取組に関して、委員の皆様から賜った意見をビジョンに反映し、定住自立圏の構想が発展に向かっていくように第4次のビジョンにしたいと考えている。</p> <p>中心市の西脇市では、圏域全体の暮らしに必要な都市機能を整備していくという役割があり、近隣の多可町では、必要な生活機能を確保し、農業や林業の振興や豊かな自然環境の保全を図っていく役割がある。お互いが連携、協力することで圏域全体が活性化を図っていかねばならない。第4次のビジョンの策定にあたり、西脇市、多可町の結びつきについて改めて見つめなおし、強みはさらに強く、弱みはどのように補っていくのか議論を深め、国や県のあらゆる制度を活用しながら発展につなげていきたい。</p> <p>今後、複数回にわたり協議を重ねることになり、お世話になるがお願い申し上げます。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>西脇市市長公室政策推進課</p> <p>TEL：0795-22-3111（内線3052）</p> <p>FAX：0795-22-1014</p>

